

# みま～もがめざす「地域共生社会」とは？



# 『 新たなネットワークモデル！』

～28年度厚生労働白書 モデル事例～』

まちづくりを目的とした  
当会の趣旨に賛同した  
企業・事業所・施設、  
病院・クリニック等が、

**金を出し、  
人も出し、  
汗も出す！**

いくつになっても  
安心して暮らし続ける  
まちづくり！

を合い言葉に、地域の  
医療・保健・福祉の専門職  
(事業所)、民間企業が  
「協賛金」を出し合い、活動をする  
新しい地域づくりのカタチ！

# 協賛企業・事業所数94!



## 後援

大田区 ・ 大田区社会福祉協議会  
公益社団法人 大田区シルバー人材センター  
地域独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

協賛病院 12

協賛施設 8

協賛企業 34

協賛薬局 7

協賛医療・介護事業所 33



# みま～もサポーターは 現在100名！



年会費：  
2,000円

## ◆ サポーター特典

年1回の体力測定が  
特別価格で  
受けられます！

ミニ講座やイベント  
の案内を毎月郵送  
します！

年1回、サポーター  
親睦会にご招待！

1年間の活動DVD  
をプレゼント！  
(希望者のみ)



以下の活動において、活動費が支給されます。  
1) イベントやお祭りへの協力  
2) ミニ講座やミマモリ食堂での特別活動費  
\* 1回2時間以上で500円の商品券をさしあげます  
\* 1ヶ月2000円を上限

## 地域包括支援センターは65歳以上の方の相談窓口です

自立して生活できるよう支援します

### 介護予防ケアマネジメント

- 要支援1・2と認定された人は介護保険の介護予防サービスを利用できます。
- 支援や介護が必要となる恐れの高い人は、市区町村が行う介護予防事業を利用できます。

みなさんの権利を守ります

### 権利擁護

- 皆さんが安心していきいきと暮らせるよう、みなさんの持つさまざまな権利を守ります。虐待への対応や、成年後見制度の紹介や、消費被害などに対応します。



保健師（看護師）・社会福祉士・主任ケアマネジャーの専門職が高齢者が「地域でその人らしい生活を送るために」このような支援を行っています。

何でもご相談ください

### 総合相談

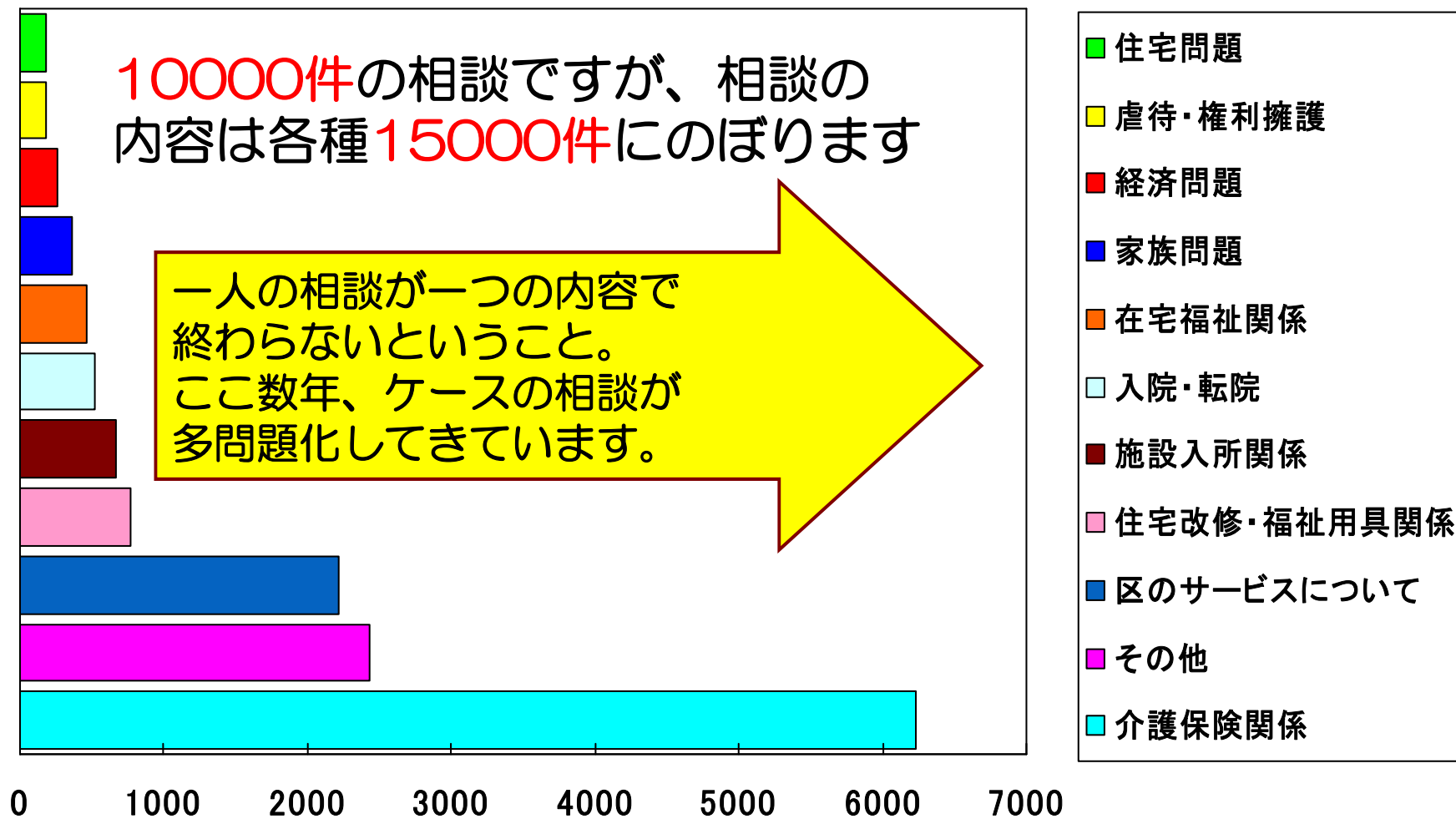
- 介護に関する相談や悩み以外にも、福祉や医療など何でもご相談ください。

さまざまな方面からみなさんを支えます

### 包括的・継続的ケアマネジメント

- 暮らしやすい地域にするため、さまざまな機関とのネットワークをつくり調整します。

大田区内21カ所の地域包括支援センターで  
1ヶ月**10000件**の相談に対応しています。



キーパーソンが精神疾患の要介護者  
(障害を持つ子と要介護の親。  
世帯への支援が課題)

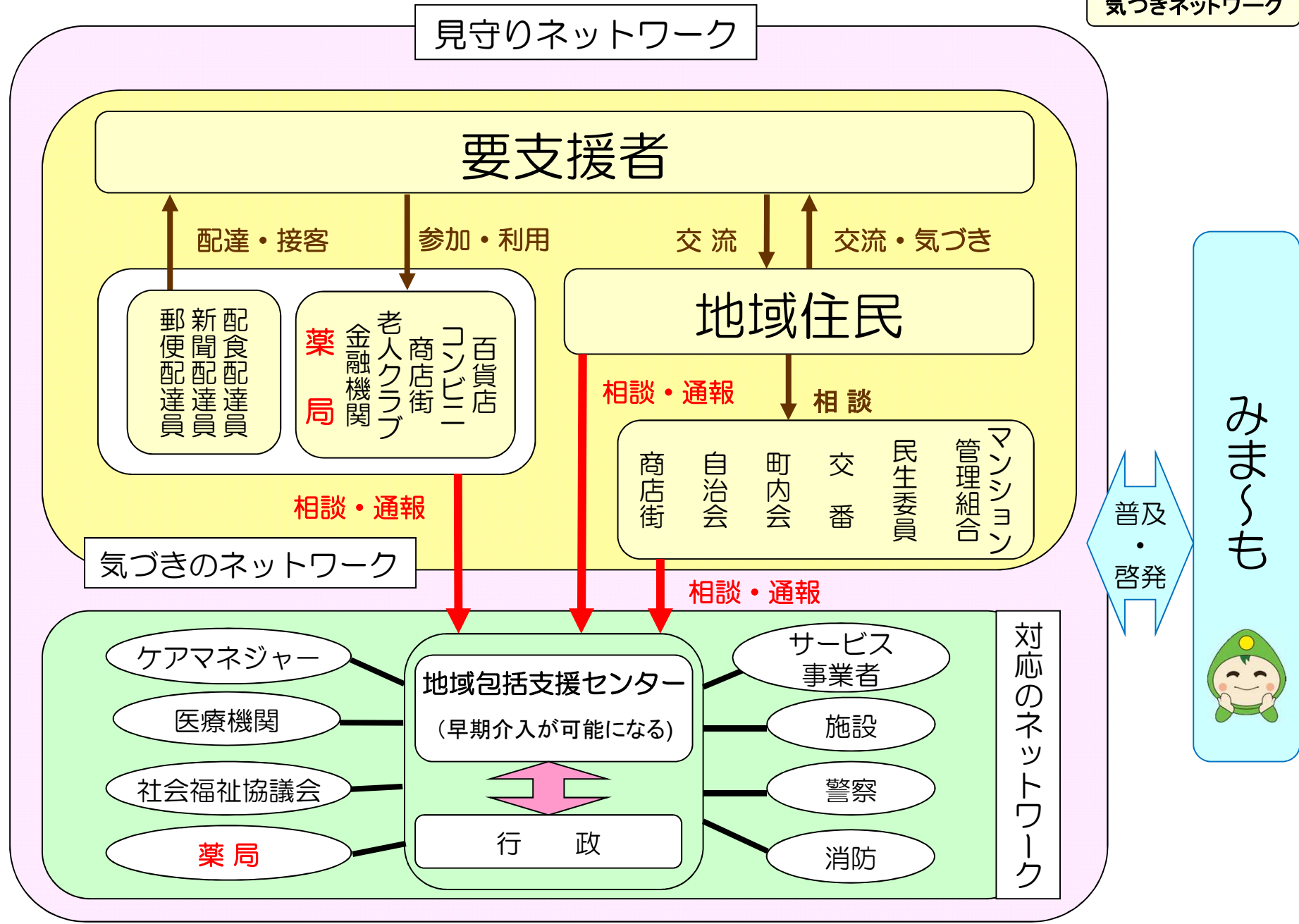
精神疾患やがん、難病疾患  
を抱えているケース。  
地域生活を送る上で、福祉  
分野に加え、保健医療や就  
労などの分野にまたがった  
支援が必要

母子家庭で母が脳出血で入院。  
小1の子は祖父母に  
養育されていたが  
祖父母ともに認知症になり、  
養育できない状況。  
娘の友人からの通報により発見



# 支援が必要な人を見守り・支え合うネットワークとは？

対応のネットワーク  
気づきネットワーク





地域共生社会の実現  
に向けた一番の課題！

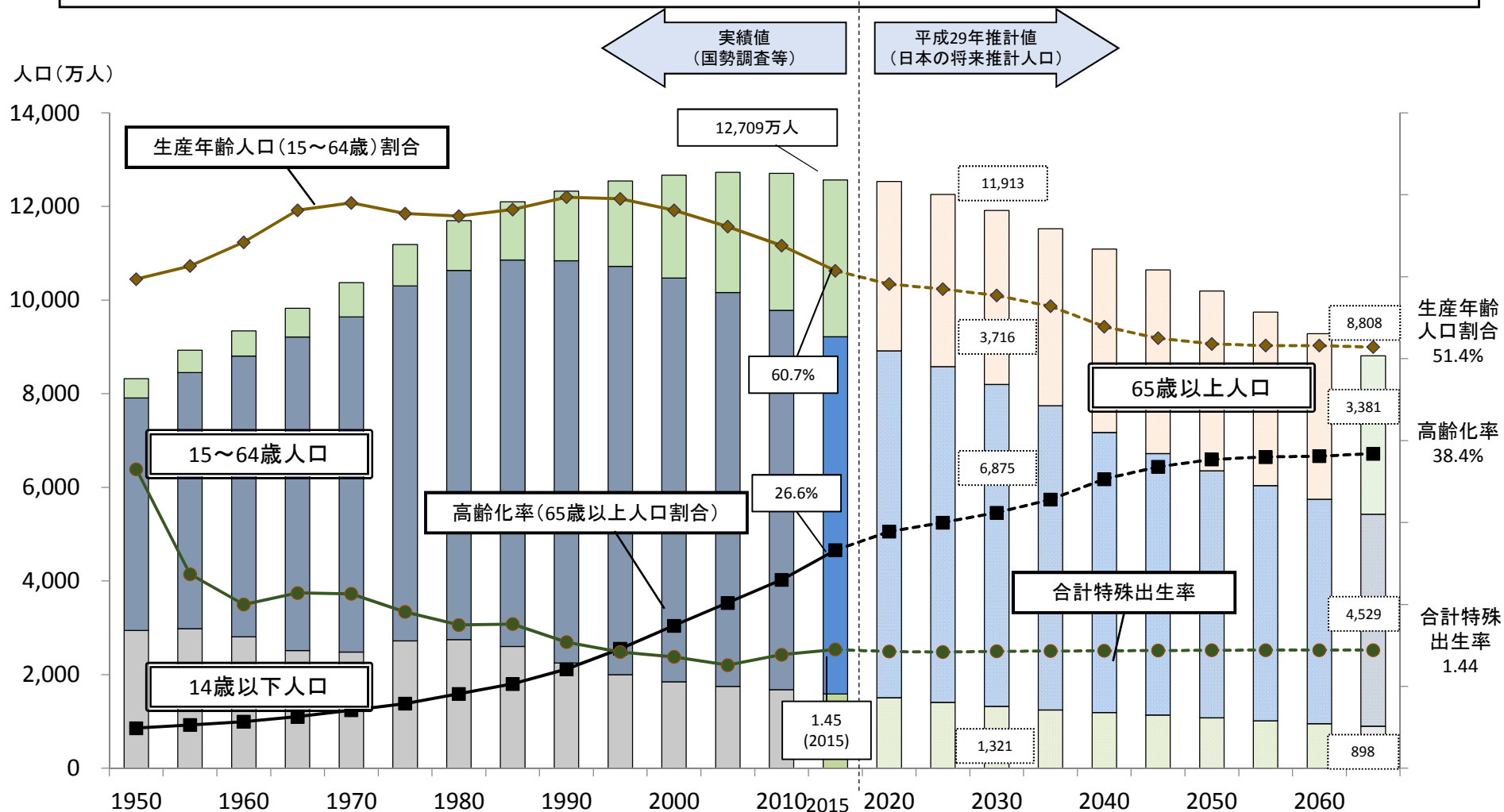
それはっ！！

# 地域共生社会実現に向けた 専門職の課題

気づきのネットワーク構築に  
専門職として何ができるか！

# 日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。



(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 厚生労働省「人口動態統計」

超高齢社会を迎えた我が国の  
すべての分野の企業が、  
シフトチェンジを模索し始めている



自社完結から、  
多職種・異業種連携へ！



&



# 地域共生社会実現のためのキーワード 「社会参加」！



いくつになっても、行きたい場所がある！  
それは、気軽に訪れることができる場所。  
行きたいと思える場所！  
そこには、友人・知人がいて、自分を待っていてくれる。  
必要としてくれている。

いくつになっても、持病があっても、1人で外出できなくても、  
その人なりの社会参加の『場』がある・・・。  
ひとつの大きな施設より、地域にそんな場がたくさんあることが重要  
なんです！！

本人の気持ちに伴わない中では・・・、  
何も生まれない！  
私たち専門職が今、意識しなければ  
ならないこと、それは「支援」よりも

「共感」をつなぎ、  
「主体」を広げていくこと！

